

The 18th Annual Meeting of
Japanese Peripheral Nerve Society

Hirosaki, August 24-25, 2007



第18回日本末梢神経学会学術集会を開催するにあたって

伝統ある日本末梢神経学会学術集会を弘前市で開催するにあたりご挨拶申し上げます。

本学会は末梢神経にかかわりのある基礎的、臨床的問題について最新の研究成果を発表、討議するユニークな会として発展して参りました。これまでのいずれの会におきましても、高い学術的内容が特色となっており、神経内科、整形外科、リハビリテーション科、あるいは基礎分野から多くの先端的研究が報告されてきました。臨床では神経内科領域でのニューロパチー、痛みなどの疾患について、整形外科領域では外傷、神経修復などが主なものとして挙げられます。基礎的研究からは、末梢神経障害の成因に関わる分子生物学的研究や、神経再生や修復などに関わる新しい治療の試みなど近未来の治療と直結する話題が多くみられています。私自身は糖尿病での神経障害を研究領域としておりますが、本学会に参加し、学び得るところが大きかったものと考えています。このような学術集会を、会員の皆様を弘前にお迎えし開催できることは、私にとりまして大変な荣誉であるとともに、その責任の重さを深く感じているところです。本学会はそれほど大規模な会ではありませんが、これまで毎年夏を中心に、全国各地にて素晴らしい学術集会がその都度開催されてきました。この会が東京から北の地で開催されましたのは、私の恩師である東北大学名誉教授の後藤由夫先生が仙台市にて行った第9回目だけです。今回、さらに北の弘前までお出でいただくにあたり、是非学会だけではなく、いろいろな面でお楽しみいただけるよう期待しております。

本学会の開催にあたりいろいろな分野からの参加者があることを考慮し、多くの先生方が等しく興味深く聞いていただけるようプログラムを工夫したつもりです。特別企画としまして、「末梢神経障害のあすの治療に向けて」のテーマのもと特別講演に、慶応大学生理学講座 岡野栄之教授に最先端の神経再生のお話を賜る予定です。その後シンポジウムとして「末梢神経の傷害と再生医学」をとりあげ、個々の話題について発表、討議していただく予定です。また、教育講座として、「末梢神経疾患の所見のとり方と臨床検査」を企画しました。コメディカルも含めて、臨床に役立つコースになるよう計画したものです。イブニングセミナー、ランチョンセミナーの時間を利用して、海外から米国ウエインステート大学Sima先生に「糖尿病性神経障害の病理、

最新の研究成果」について、また臨床面では英国、マンチェスター大学、Malik先生に「糖尿病性神経障害の早期診断と治療」のお話をいただきます。また、もうひとつのランチオンセミナーでは、末梢神経障害の臨床で高頻度に遭遇する「痛み」についてその機構を和歌山医大 仙波恵美子先生にお話していただきます。産業医学講座としては「職業性末梢神経障害」を労働安全衛生研究所 平田衛先生に話題の環境因子の影響についてご紹介いただけるかと思えます。一般演題も貴重な臨床症例から最先端の実験研究までたくさんの報告があり、もりだくさんの内容となっています。

1日目の会員懇親会の前には、記念講演としまして、弘前大学名誉教授の松木明知先生に「空白の二十七時間 一八甲田雪中行軍遭難事件の謎に迫る」という演題のお話を賜ります。貴重な歴史のお話をお聞き逃しのないようにしていただきたいと思っております。1日目夜の会員懇親会では、参加者すべてにご参加いただき、みちのくの郷土料理、地酒とともに津軽三味線の夕べをお楽しみいただければと思います。昼は勉強、夜は大いに飲んで語っていただき、津軽での学会を堪能していただきたいと思えます。

先生方には学会の前後に青森の各地を探索されるよい機会でもあると存じます。この地域には世界遺産の白神山地、日本で最初に指定された国立公園としての十和田湖、八甲田、奥入瀬渓流がございます。温泉が趣味の方は、岩木山、黒石・温湯(ぬるゆ)、八甲田・酸ヶ湯(すかゆ)温泉の千人風呂、下北半島での下風呂(しもふろ)温泉など場所に事欠きません。また文学散歩されたい方は、太宰治の生家、金木町の斜陽館や、石坂洋二郎の青い山脈などの跡地など、いろいろございますので、近くにごきます観光案内で、お尋ねになっていただければと思います。

本学会の準備にあたり、教室の少ない人数で行って参りましたので至らない点が数々あったかと思えます。しかしながら、気持ちだけは参加される先生方の思い出に残る、素晴らしい学会になるよう精一杯努力しておりますので、どうかご寛恕いただければと思います。それでは、どうぞよろしく願い申し上げます。

平成19年7月1日
第18回日本末梢神経学会学術集会
会長 八木橋 操六

日程表

8月24日(金)

8 35	開会の辞
8 40	一般演題I 炎症性ニューロパチー 座長：左古田 三郎
9 10	一般演題II 膠原病・血管炎とニューロパチー 座長：池田 修一
9 40	一般演題III 遺伝性ニューロパチー 座長：吉良 潤一
10 10	
10 20	一般演題IV 手根管症候群 座長：根本 孝一
10 50	一般演題V 肘部管症候群 座長：長野 昭
11 20	
11 30	総会
12 00	ランチョンセミナー1 座長：持尾 聰一郎 「慢性痛」とは何か？ そのメカニズムと治療戦略 仙波 恵美子
13 00	特別企画 「末梢神経障害のあずの治療に向けて」 特別講演 座長：井上 聖啓 「中枢神経系と末梢神経系の再生研究」 岡野 栄之 シンポジウム 「末梢神経の傷害と再生医学」 座長：祖父江 元 越智 光夫
15 30	
15 40	一般演題VI 遺伝子治療・人工神経 座長：平田 仁
16 10	一般演題VII 糖尿病性神経障害 座長：佐々木 秀行
16 40	
16 50	イブニングセミナー 座長：八木橋 操六 「Pathology of diabetic neuropathy: An update」 Anders AF Sima
17 50	記念講演 座長：藤 哲 「空白の二十七時間-八甲田雪中行軍遭難事件の謎に迫る-」 松木 明知
18 50	
19 00	情報交換会 会員懇親会

8月25日(土)

9 00	一般演題VIII 血管・免疫および実験治療 座長：神田 隆
9 40	一般演題IX 膜チャンネル・成長因子 座長：楠 進
10 10	
10 20	
10 30	一般演題X Crow-Fukase症候群・免疫ニューロパチー 座長：中川 正法
11 00	一般演題XI 皮膚・神経・筋・腫瘍 座長：斉藤 豊和
11 30	産業医学講座 座長：大西 晃生 職業性末梢神経障害 平田 衛
12 00	ランチョンセミナー2 座長：額田 均 「Early detection of diabetic neuropathy and direction of treatment」 Rayaz Ahmed Malik
13 00	一般演題XII 電気診断・生理 座長：園生 雅弘
13 40	教育講座 「末梢神経疾患の所見のとり方と臨床検査」 座長：馬場 正之 有村 公良
15 40	閉会の辞
15 45	

一般演題プログラム

一般演題I 炎症性ニューロパチー

8月24日(金) 8:40-9:10

座長：左古田 三郎 (大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学)

- 1 Guillain-Barré症候群の回復期に喉頭蓋軟弱症を呈した38歳男性例
吉田 典史 (埼玉医大総合医療センター 神経内科)
- 2 味覚障害で発症した急性失調性多発神経炎の49歳女性例
三井 隆男 (埼玉医大総合医療センター 神経内科)
- 3 著明な疼痛を呈したcryptogenic sensory neuropathyの2例
松本 泰子 (浅ノ川総合病院 神経内科)

一般演題II 膠原病・血管炎とニューロパチー

8月24日(金) 9:10-9:40

座長：池田 修一 (信州大学医学部 脳神経内科リウマチ・膠原病内科)

- 4 全身性エリテマトーゼス(SLE)に合併したCIDPの一例
豎山 真規 (東北大学 神経内科)
- 5 M蛋白血症を伴った結節性多発動脈炎、血管炎性ニューロパチーの1例
小林 正樹 (東京女子医科大学 神経内科)
- 6 シクロホスファミドと副腎皮質ステロイドの併用が奏効した非全身性血管炎性ニューロパチーの一例
垣内 無一 (金沢医大 神経内科)

一般演題III 遺伝性ニューロパチー

8月24日(金) 9:40-10:10

座長：吉良 潤一 (九州大学大学院医学研究院 神経内科)

- 7 遺伝性ニューロパチーの臨床像を呈しIVIgが奏功した一例
宮本 勝一 (近畿大学医学部 神経内科)
- 8 Charcot-Marie-Tooth病1Aに対するアスコルビン酸投与の有効性の検討
中川 正法 (京都府立医科大学大学院 医学研究科 神経内科学)
- 9 PMP22点変異によるCharcot Marie Tooth病の分子メカニズム：小分子 curcuminによる治療可能性
滋賀 健介 (ベイラー医科大 分子遺伝学部門、京都府立医科大学大学院 医学研究科 神経内科学)

一般演題プログラム

一般演題IV 手根管症候群

8月24日(金) 10:20-10:50

座長：根本 孝一 (防衛医科大学校 整形外科)

- 10 野生型トランスサイレチン由来アミロイド(老人性アミロイドーシス)により手根管症候群を呈した4名の臨床像の検討
小平 農 (信州大学医学部附属病院 脳神経内科)
- 11 妊娠による手根管症候群の電気生理学的特徴
栢森 良二 (帝京大学医学部 リハビリテーション科)
- 12 手根管開放術後における電気生理学的回復について
金谷 貴子 (神戸労災病院 整形外科)

一般演題V 肘部管症候群

8月24日(金) 10:50-11:20

座長：長野 昭 (浜松医科大学 整形外科)

- 13 内視鏡を用いた肘部管症候群の手術
吉田 綾 (筑波メディカルセンター病院 整形外科)
- 14 肘部管症候群における順行性知覚性インテグレーション法と超音波検査の併用
鈴木 暁子 (兵庫中央病院 整形外科)
- 15 絞扼に伴う尺骨神経麻痺からの回復過程
長谷川 修 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合診療科)

一般演題VI 遺伝子治療・人工神経

8月24日(金) 15:40-16:10

座長：平田 仁 (名古屋大学大学院医学研究科 手の外科学)

- 16 神経因性疼痛モデルに対するHGF遺伝子治療の効果—HVJ-リポソーム法による逆行性神経内遺伝子導入—
土原 豊一 (防衛医科大学校 整形外科学教室)
- 17 距離のある神経欠損に対する人工神経の開発
市原 理司 (京都大学再生医科学研究所 臓器再建応用分野、順天堂大学 整形外科)
- 18 拡散テンソル法を用いた末梢神経線維のtractography-ex vivoモデルでの検討—
高木 岳彦 (慶應義塾大学医学部 整形外科)

一般演題プログラム

一般演題VII 糖尿病性神経障害

8月24日(金) 16:10-16:40

座長：佐々木 秀行 (和歌山県立医科大学 内科学第一講座)

- 19 IVIG大量静注療法が有効であった糖尿病を有する両側胸部神経根症の2例
喜多 也寸志 (県立姫路循環器病センター 神経内科)
- 20 γ グロブリン大量療法(IVIg)が有効であった疼痛性糖尿病性ニューロパチーの3例
川頭 祐一 (名古屋大学大学院 医学系研究科 神経内科)
- 21 糖尿病ポリニューロパチーの危険因子の検討
小河 健一 (和歌山県立医科大学 内科学第一講座)

一般演題VIII 血管・免疫および実験治療

8月25日(土) 9:00-9:40

座長：神田 隆 (山口大学医学部 神経内科)

- 22 血液神経関門を構成する内皮細胞の細胞学的特徴
佐野 泰照 (山口大学医学部 神経内科)
- 23 高気圧酸素療法が末梢神経に及ぼす影響に関する実験的研究(第1報)
土原 豊一 (防衛医科大学校 整形外科学教室)
- 24 ラット末梢神経の虚血再灌流傷害に対するFK506(タクロリムス)の効果
額田 均 (オタゴ大学内科)
- 25 実験的自己免疫性神経炎にたいするRho-kinase阻害剤の効果
三野原 元澄 (九州大学大学院 脳神経病研究施設 神経内科)

一般演題IX 膜チャンネル・成長因子

8月25日(土) 9:40-10:20

座長：楠 進 (近畿大学医学部 神経内科)

- 26 マウス軸索再生に伴うイオンチャンネル発現と軸索興奮特性の変化
桑原 聡 (千葉大学大学院医学研究院 神経内科)
- 27 有痛性糖尿病性神経障害発症におけるテトロドトキシン抵抗性 Na^+ チャンネルの役割：選択的 $\text{PKC}\beta$ 阻害薬の効果
真田 充 (滋賀医科大学 内科学講座(神経内科))
- 28 高血糖は軸索 Na 電流を抑制する：latent addition法による検討
三澤 園子 (千葉大学大学院医学研究院 神経内科)
- 29 培養後根神経節ニューロンを用いた、毛様体神経栄養因子の作用機構解析
三五 一憲 (東京都神経科学総合研究所 神経発達・再生研究分野)

一般演題プログラム

一般演題X Crow-Fukase症候群・免疫ニューロパチー 8月25日(土) 10:30-11:00

座長：中川 正法（京都府立医科大学 神経内科）

- 30 PBSCT併用大量化学療法が著効したPOEMS症候群の1例
吉村 元（神戸市立医療センター中央市民病院 神経内科）
- 31 Crow-Fukase症候群における痛みと臨床病理学的所見との関連
小池 春樹（名古屋大学大学院 医学系研究科 神経内科）
- 32 免疫性ニューロパチーの臨床像に関する検討
廣谷 真（北海道大学大学院 医学研究科 神経内科）

一般演題XI 皮膚・神経・筋・腫瘍 8月25日(土) 11:00-11:30

座長：斉藤 豊和（北里大学医療衛生学部 リハビリテーション学科）

- 33 乾癬を伴ったMAG陽性ニューロパチーの1例
村田 顕也（和歌山県立医科大学 神経内科）
- 34 呼吸不全、多血症、下肢深部静脈血栓症を認め、NIPPVの導入が有効であった成人発症型ネマリンミオパチーの1例
清水 洋孝（兵庫県立姫路循環器病センター 神経内科）
- 35 母指対立障害を呈した正中神経Fibrolipomatous Hamartomaの1例
山口 太平（駿河台日本大学病院 整形外科）

一般演題XII 電気診断・生理 8月25日(土) 13:00-13:40

座長：園生 雅弘（帝京大学 神経内科）

- 36 末梢神経の再生に及ぼす直流鍼通電刺激の影響
井上 基浩（明治鍼灸大学 臨床鍼灸学教室）
- 37 顔面筋複合活動電位の至適刺激部位
栢森 良二（帝京大学医学部リハビリテーション科）
- 38 呼吸刺激を用いたsympathetic skin responseの検討
吉良 保彦（京都府立福祉センターリハビリテーション病院）
- 39 糖尿病性多発神経障害評価としての浅撓骨神経伝導検査
長谷川修（横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合診療科）

